

誰一人取り残さず、  
皆が幸せになれる  
私達の未来を  
『誠実に、丁寧に、考える』  
人と出会える場所を創る

# Beyond SDGs イノベーション 学会

『きれいごと』を実践し、  
科学する

## 若者・中堅人材中心のオンライン型新設学会 共同発起人・会員募集

SDGsの目標年の2030年まで、あと10年を切りました。また、SDGsの次の国際目標であるポストSDGsに関する議論も今後4～5年以内に本格検討がされ始めます。しかしながら、現在日本においては、SDGsの認知度は高まってきたものの、認知度向上と同時に誤解が広がってきている、SDGsウォッシュという誇張表現が横行してる等の状況が発生しています。真実を追求する研究者と積極的な活動を推進する実践者の連携がうまく進んでいないことがその根本的な理由の一つだと考えられます。

また、研究者と実務者間以外でも、SDGsの本質である世界の変革を促すために必要な様々な領域の横断的な取り組みが十分に進んでいるとは言えない状態です。現状を称賛するためにはではなく、新しい取り組みを次々に生み出すために、SDGsやポストSDGsといった共通言語をこれまで以上に活用していく必要があります。

そのため、この度、様々な既存の社会において分断、もしくは関係の歪みを解消するために、新たな学会「Beyond SDGsイノベーション学会（Academy of innovation for Beyond SDGs:AIBS）」を設立することとなりました。AIBSでは研究者と実務者間の連携、異なる研究領域の研究者間の連携を促進することで、新たな知の創造と社会変革の実践の実現を目指します。また、若者を含め、若手・中堅の方々を中核とした運営体制により、オンラインでの運営を基本とするとともに、SDGs・ポストSDGsといった国際目標と合わせて、運営体制や名称を変更していく予定です。

若者を始め、多くの方々のご参加をお待ちしております。

共同発起人・会員の登録はこちら→



# Beyond SDGsイノベーション学会の特徴

本学会では特に既存の社会において分断、もしくは関係の歪みが生じる傾向にある以下の点に注目し、これを解消することで、新たな知の創造と社会変革の実践を実現します。

また、一世代先、二世代先の方々が理想とする社会を実現するために、若者の参画を強く奨励し、若者の活動の支援や世代や立場を超えた交流の場づくりを実践していきます。

具体的には、本学会では以下の課題の解消を皆様と目指していきます。

## 課題1：研究領域ごとの縦割り構造

主に、「教育・働き方」、「ビジネス」、「地域／空間の計画／マネジメント」、「テクノロジー」といった研究の重点領域を設定するとともに、領域横断の研究を推奨します。それにより、これまでトレードオフが発生することで最適解が見いだせなかった地球規模課題を解決します。

## 課題2：研究者と実務者の分断

実務経験のある研究者、学術領域に関心が高い実務者、研究者・実務者間での連携に関心が高い方々を積極的に招き入れます。研究者と実務者がデータを共有することで、研究者はより実社会を反映した研究の推進、実務者は自分たちの活動の意義や有効性に対して科学的根拠を得ることで、社会変革の推進を加速させます。

## 課題3：学びと遊びの分断

遊びの要素を組み入れることで、学びの質は高まります。研究という学びにおいて、人々が積極的に取り組みたいと思う遊びの要素を組み込むことを推奨します。それにより、誰もが生涯を通じて学び続けたいと思える社会の実現をします。

## 課題4：社会における年功序列

過去の成功体験が重視され変化が起きにくい現状を打破するため、日本において伝承されてきた不易流行という考え方に基づきながら、若者の参画・価値観・発言を尊重できる研究者／実務者で学会を構成します。それにより、年齢を超えた活発な交流と支え合いが身近に存在する社会の実現をします。

その他、学会の詳細は設立趣意書を御覧ください